

【Durev the Householder】

## 説明

### 解説

#### ■ 神殿

嵐の神殿。小神。

#### ■ 称号、職能

カールとして生計を立て、家族を守る“家長”。

#### ■ 概略

オーランスカールが始めて土地を開き、バーンターが耕し、デューレヴが暴力にも口にもよらず懸命に働き家族を守り、生産活動を生計へと結びつけた。こうして生産者としてデューレヴは家族を担い養い大所帯にまで育て上げ、その裕福さは「ヴィングコット族の十種の宝」のうち5つまでも所有するほどであった。そしてデューレヴは「初めての立法」において、スタークヴァルが近侍の、ヴィングコットが貴人の立場を語ったように、カールとしての立場を語った。

だからこそデューレヴは、ヒョルト族の家父長の大部分、すなわちヒョルト族男性の大部分が崇める神である。

オーランスのカルトとしては家父長としての農夫といった、職業に根ざしたカルトである。

#### ■ 異界

### 組織

#### ■ 聖日

#### ■ 大聖日

#### ■ 相、カルト

すべての父オーランスの下位カルト。

### 近親

#### ■ 両親

父親はオーランス。

母親はアーナールダ。

#### ■ 配偶者

“農婦”オラーネ。

### 参考文献

- 『Thunder Rebel』 p.143、 216-217、 232-233